

## 2022年度商品テスト（苦情処理テスト）の概要

2023年3月31日現在

区分	食料品	住居品	光熱水品	被服品		保健・衛生品	教養・娯楽品	車両・乗り物	土地・建物・設備	その他	計
				クリーニング*	被服品						
総件数	1	1	0	3	3	1	2	1	0	0	12
(うち外部依頼件数)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(0)	(0)	(2)

(相談内容及びテスト結果の概要)

受付番号	受付年月日	相談内容	テスト項目	テスト結果
1	2022. 6.20	デザインシャツ (色移り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・顕微鏡観察</li> <li>・繊維鑑別試験</li> <li>・測色試験</li> <li>・染色堅ろう度試験</li> <li>・蛍光X線元素分析</li> </ul>	相談品のデザインシャツは、湿潤摩擦試験で汚染することや水滴下で色泣きすることが確認されたことから、プリントされていた染料の染色堅ろう度が不十分であったと判断され、苦情部は水または水性の液体が付着したことによりプリントされていた染料が色泣きしてしまったと考えられる。水または水性の液体はどこにでもあり、どの段階でこのような色泣きが起きたかについては不明であるが、脇の前身頃側と後ろ身頃側に色泣きが見られ、縫い合わせ近辺の脇の下部分には色泣きは少なかったことやカリウムは検出されたが、主な汗成分であるナトリウムと塩素が検出されなかったことから、汗が付着して色泣きしたとは考えにくい。
	県消費生活総合センター		(被服品・クリーニング)	
2	2022. 6.16	鳥かご (鉄、塗料の成分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・顕微鏡観察</li> <li>・赤外分光分析</li> <li>・蛍光X線元素分析</li> </ul>	相談品の白色塗装は、ポリエステル系樹脂にチタン系の顔料を混合した塗料を使用している可能性がある。母材は鉄で、表面をリン酸処理ないしリン酸亜鉛処理した上に白色塗装を施したと推定される。
	西尾市消費生活センター		(教養娯楽品)	
3	2022. 7.19	制服ブレザー (白い筋の原因)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・顕微鏡観察</li> <li>・赤外分光分析</li> <li>・蛍光X線元素分析</li> <li>・測色試験</li> </ul>	相談品の肩と袖ぐりの白化は、リュックサックのベルトなどにより局部に大きな荷重と摩擦が加わり、糸が扁平に変形及び荒れが生じたため発生した可能性がある。背中部分もリュックサックの背面や椅子などとの摩擦により白化した可能性がある。
	岡崎市消費生活センター		(被服品・クリーニング)	
4	2022. 7.20	面ファスナー (洗濯で取れる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・アイロン加熱接着試験</li> <li>・顕微鏡観察</li> </ul>	相談品の面ファスナーが洗濯で取れてしまった原因は、面ファスナー側からアイロン加熱をしたため接着強さが弱かったことが原因であると考えられる。裏側からアイロン加熱接着す

			<ul style="list-style-type: none"> <li>洗濯試験</li> <li>接着強さ試験</li> </ul>	ることにより、強く接着することが可能である。また説明文が、面ファスナー側に当布をしてアイロン接着するように受け取れる記載であったことで接着方法が正しく伝わらなかったと考えられる。
	県消費生活総合センター		(被服品)	
5	2022. 8.17 (危害)	電気カミソリ (使用により出血)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観検査</li> <li>顕微鏡観察</li> <li>蛍光X線元素分析</li> <li>簡易再現試験</li> </ul>	相談品の刃の材質は、内刃、外刃ともにステンレス鋼で、顕微鏡観察の結果、内刃、外刃ともに摩耗が見られた。外刃に皮膚を押し当てた簡易な観察では、皮膚にたるみがあるとき、強く押し当てると皮膚が外刃と内刃との摺動面にまで食い込む様子が観察された。内刃が高速で回転してひげを切る構造であるので、皮膚の柔らかい部分などでは押し当て方により、けがが発生する可能性があるため、取扱説明書を熟読し注意深く使用する必要がある。
	県消費生活総合センター		(保健衛生品)	
6	2022. 9. 5 (危険)	テレビのブラスター用電源 (内部加熱)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観検査</li> <li>分解検査</li> <li>X線透過試験</li> <li>赤外分光分析</li> <li>蛍光X線元素分析</li> </ul>	相談品の外観には異状は見られないが、分解して内部を観察したところ、過熱による半導体の損傷及びケース内側への煤と金属微粒子の付着が見られた。また、顕微鏡による観察とX線透過試験による透過像とにより、半導体内部及びプリント配線の銅箔の一部も消失していることが確かめられた。これらのことから、相談品は過電流による半導体の発熱で高温となったことが推測される。しかし、内蔵の電源ヒューズに損傷はないため、高温とはなったが短時間で電流が切れたと推測される。
	県消費生活総合センター		(独)製品評価技術基盤機構中部支所にて原因究明 (教養娯楽品)	
7	2022. 9. 9	ネクタイ (変色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観検査</li> <li>顕微鏡観察</li> <li>赤外分光分析</li> <li>測色試験</li> </ul>	相談品の変色は、青味がかかったヨコ糸が使用に伴う擦れと経年劣化のために抜け落ち、黒く染色されたタテ糸の色調が優勢となり、黒く変色したように見えた可能性が高い。動物性繊維である絹糸の経年劣化については、古くから研究されており、日光と湿度の影響を受けやすいことが知られている。特に、直射日光では急速に劣化するため注意する必要がある。
	小牧市消費生活センター		(被服品)	
8	2022. 9.22	ポロシャツ (襟の変色)	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観検査</li> <li>顕微鏡観察</li> <li>繊維鑑別試験</li> <li>染色堅ろう度試験</li> <li>測色試験</li> </ul>	相談品の襟の変色は、光及び汗に対する染色堅ろう度が弱かったことが原因と推定される。襟裏側や脇の下には変色がないことから汗単独による変色ではなく、肩等の太陽光に強く照射される部分にも変色はほとんど見られないことから、日光単独による変色でもない。JIS法とは異なる試験方法であるが、太陽光照射による汗耐光堅ろう度試験で変色が見られたことから、光及び汗に対する染色堅ろう度が弱かったことが原因と考えられる。しかし、2日間の汗耐光試験でも相談品の襟と同程度の変色にならなかったことや襟前部に擦れが原因と考

				えられる毛羽立ちが多くあったことから、かなり使用されていたと推定され、これも要因の一つとして考えられる。
	県消費生活総合センター			(被服品)
9	2022. 9.22	フライパン (塗膜表面の膨らみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・付着力試験</li> <li>・耐食性試験</li> <li>・耐熱油性試験</li> <li>・耐熱衝撃性試験</li> <li>・使用再現テスト</li> <li>・空焚きテスト</li> </ul>	苦情同型品のふっ素樹脂塗膜は、付着力や耐食性、耐熱油性はJISの基準を満たしており、再現試験や急熱、急冷の繰り返しや、高火力での空焚きを行っても、塗膜表面の膨らみは再現しなかった。苦情品の塗膜表面の膨らみは、表面のピンホールを起点にフライパン基材のアルミニウムとの境界に油分等が徐々に浸透し、加熱調理の繰り返しにより発生した可能性も考えられたが、塗膜下のアルミニウム合金に明らかな腐食は見られず、現象も再現しなかったため、原因の特定はできなかった。
	県消費生活総合センター		(独)国民生活センターにて原因究明	(住居品)
10	2022.12. 1	車のハンドル (素材鑑定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・顕微鏡観察</li> <li>・赤外分光分析</li> <li>・蛍光X線元素分析</li> </ul>	相談品のハンドルは、クロム革なめしされた天然皮革(本革)の表面にウレタンを含浸し、ウレタン仕上げをしていると考えることができる。このため、表層剥離面の色艶がウレタン様(ゴム様)に見えていると思われる。天然皮革は、水分吸収率も高く、また、擦れや傷が付き易い素材であるため、ハンドル素材として、このような表面処理が行われた可能性が考えられる。
	常滑市消費生活センター			(車両・乗り物)
11	2022.12.17	ゆであずきから出てきた異物 (異物分析)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・顕微鏡観察</li> <li>・赤外分光分析</li> <li>・蛍光X線元素分析</li> </ul>	ゆであずきから出てきた異物の材質はポリエステル樹脂であった。缶の切り口を観察したところ、ふたの切り口から異物と同様な細幅の薄いフィルム状の不定型の物質が観察されたこと、缶本体の切り口に薄いフィルム状の物質が観察されたこと、そのフィルム状の物質は不定形でゆであずきから出てきた異物と形状が類似していたこと、缶の内面もポリエステルフィルムがラミネートされていたこと、それらはすべて同じポリエステル樹脂であったことから判断すると、ゆであずきから出てきた異物は缶の内面にラミネートされたフィルムが開缶時に引きちぎられたものである可能性が高いと判断される。
	県消費生活総合センター			(食料品)

1 2	2023. 3. 1	女性用礼服 ワンピース (白色繊維の 飛び出し)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観検査</li> <li>・顕微鏡観察</li> <li>・繊維鑑別試験</li> <li>・伸縮性試験</li> </ul>	<p>相談品の礼服ワンピース表面の白色物質は、ポリウレタン繊維であった。ポリウレタン繊維はループ状又は直線状に服地表面に飛び出しているが、繊維の断裂は見られなかった。服から引き出したウレタン繊維の伸縮性を確認したところ、4倍の引き延ばしが可能で、引き延ばし解除後は元の長さに戻ったことから、ポリウレタン繊維は劣化していないと判断された。クリーニングの受付時に異常は確認されなかったことから、ポリウレタン繊維が服地から吹き出した原因はクリーニングによる揉み作用が主な原因と推定される。</p>
	日進・東郷消費生活センター	(被服品・クリーニング)		